

Teachers' Use of the First Language for Facilitation:

Its Relationship to Students' Anxiety towards Foreign Language Learning in Japanese Elementary Schools
教師のファシリテーション型の母語使用—小学校外国語活動における児童の不安との関係—

LET中部支部第83回支部研究大会
畠山直子
kumakumayossy@hotmail.com

Contents

1. 研究背景
2. 先行研究
3. リサーチクエスション
4. 研究フレームワーク
5. 研究方法
6. 結果・考察
7. 結論

1. 研究背景

Monolingual teaching への傾向

- ・「英語が使える日本人」の育成のための行動計画
(文部科学省、2003)
- ・「授業は英語で行うことを基本とすること」
(文部科学省、2010)
- ・「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」
(文部科学省、2013)



現実として日本の外国語教育の授業環境は様々であり、「生徒がついて行ける範囲でなるべく英語を使おう、使わそうということに落ち着く」(金谷、2004)

2. 先行研究

目標言語のみで授業を行う意義

目標言語のみを聞くことで緊張が高まり集中して聞こうという意欲が向上する(金澤、2004; 山田、1996)。

授業で母語を使用する意義

目標言語のみを聞いてわからないという不安がなくなり安心して授業に取り組める(Macaro, 2001; Moore, 1996)。

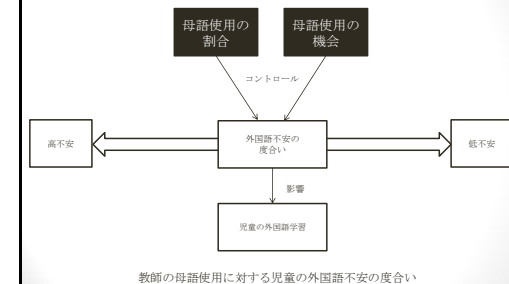


- ・母語使用には不安をコントロールする役割がある?
- ・不安の程度によって外国語学習への意欲は変化?

3. Research Question

1. 日本の小学校外国語活動において、児童の適度な不安が学習意欲を高めると仮定するならば、適度な不安とはどのような状態か
2. 第一の目的で示された適度な不安を保つためには、母語使用を適切に使用することが必要であると仮定し、適切な母語使用の具体像とはどのようなものか

4. 研究フレームワーク



5. 研究方法

調査時期

2013年9月

調査協力者

- ・愛知県内の3つの公立小学校12クラスの外国語活動
- ・小学生394名（5年生203名、6年生191名）
- ・教員12名、筆者（アシスタント）

調査方法

児童への質問紙調査及び各授業のトランスクリプトの分析

7

5. 研究方法①

質問紙調査について

松宮（2010）「心理要因尺度」を参照（4件法）

PART A: 外国語活動への好意および外国語への興味・関心・意欲（14項目）

PART B: 授業時（外国語活動時）における児童の不安や緊張の状況（15項目）

8

5. 研究方法②

トランスクリプト分析

目的：教師の母語使用が児童の不安にどのような影響を与えているのかを調査する

1. ICレコーダで授業発話の録音・文字化
2. 教師の母語使用の機能のカテゴリー化（Polio & Duff, 1994; Shimura, 2008等を参照）
3. 教師の母語使用が児童の不安に影響を与えていると思われる実例を提示・分析

9

6. 結果（質問紙調査）

因子分析の結果

→外国語活動における児童の不安には否定的評価不安と外国語学習不安の二因子が存在

外国語学習不安

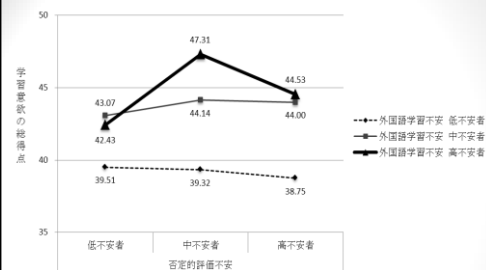
児童が外国語活動時に目標言語を聞いたり話したり覚えたりする際に感じる不安

否定的評価不安

児童が人前で発表したり間違えたりするなど他者からの否定的評価をされる際に感じる不安

10

二因子と三カテゴリーごとの学習意欲の平均値



高い学習意欲を持つ児童は、外国語学習不安が高不安である一方、否定的評価不安は中程度である

11

教師の母語使用の二類型

類型	Direction型	Facilitation型
母語使用の目的	児童が教師の話を聞かず、授業が円滑に行われない場合立て直しをはかる	学級担任の意図により児童の学習意欲をより高める
対象	総合的に不安が低い児童	総合的に不安が高い児童
不安のコントロール	否定的評価不安・外国語学習不安ともに高めるために使用される	状況に応じてある場合は不安を高めるために用いられ、ある場合は極度に高まった不安を低めるために用いられる
使用される母語の内容	比較的シンプルな母語	目標言語では伝わりにくい複雑なニュアンスの母語
母語使用の機能例	「注意」「指名」「指示」「翻訳」	「フィードバック」「励まし」「雑談」

12

Facilitation型の母語使用例

Example 21

S1: I like lemons.

AT: R likes lemons.

S2: おいしくないじゃん。

T5: 香りがいいよね、すっぱいけど。

SS: (レモンがおいしいか、おいしくないか口々に言う)

AT: Sensei, do you like lemons?

T5: ちょっとすっぱいけど Yes, I do.

AT: Yes. You like lemons.

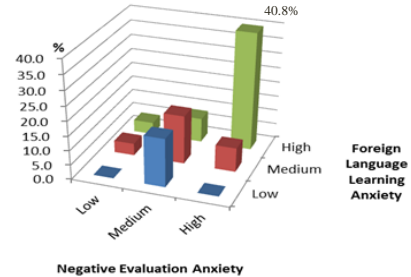
SS: (「～するとレモンはおいしいよ」で盛り上がる) からあげ！かつおのたたき！

T5: 今の季節だとさんまとかにちよつとのせるとおいしいよね。スカッシュがおいしいね。

SS: (レモンをどうするとおいしいか周りの友人と話し合ったり、「Do you like-?」と目標言語を使用して児童同士が会話をしたりしている)

*S1-2: Student1-2, AT: ALT, T5: HRT 5

13



TSにおける否定的評価不安と外国語学習不安の分布

14

7. 結論

1. 小学校外国語活動における児童の適度な不安とは、外国語学習不安が高不安であり、否定的評価不安が中程度である
2. 児童の適度な不安を維持しうる適切な母語使用は存在し、それはFacilitation型の母語使用である

ご清聴有難うございました

15

引用文献

- Hatakeyama, N. (2014). Teachers' Use of the First Language for Facilitation: Its Relationship to Students' Anxiety towards Foreign Language Learning in Japanese Elementary Schools. (Unpublished master thesis). Aichi University of Education, Aichi.
- Macaro, E. (2001). Analysing student teachers' codeswitching in foreign language classrooms: Theories and decision making. *The Modern Language Journal*, 85(4), 532-548.
- Moore, D. (1996). Bouffées transcodiques en situation immersive ou comment interagir avec deux langues quand on apprend une langue étrangère à l'école. *Acquisition et Interaction en Langue Étrangère*, 7, 95-121.
- Polo, C. and Duff, P. (1994). Teachers' language use in university foreign language classrooms: A qualitative analysis of English and target language alternation. *The Modern Language Journal*, 78(3), 313-326.
- Shimura, A. (2008). Teachers' Language Use in Japanese Senior High School English Classrooms: Quantitative and Qualitative Analysis of English and Japanese Use. (Unpublished master thesis). Hokkaido University of Education, Hokkaido. Retrieved January 8, 2013. from <http://homepage3.nifty.com/akimobusim/papers.html>
- 金谷 書 (2004). 「チャット・オンライン・ブックス」で授業をトク。『英語教育』第3号、9-16、大野館
- 金澤 延美 (2004)。『一・小・学・校・に・お・け・る・英・語・活・動・の・概・括・分・析』公・立・小・学・校「英・語・活・動」に・関・わ・る・5・年・生・対・象・の・意・識・調・査。『新・沢・女・子・高・等・学・校・紀・要』第3号、9-15
- 松谷 赤坂子 (2010)。『小学校外国語活動における児童の不安に関する実態調査』『広島大学大学院教育学研究科紀要』第59号、107-114
- 文部科学省 (2003)。『英語が使えない日本人』育成のための行動計画 <http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286794/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/15/03/03033102.pdf> (2013年10月10日)
- 文部科学省 (2010)。『高等学校学習指導要領解説外国語編』開隆堂
- 文部科学省 (2013)。『グローバル化に対応した英語教育実定計画』 <http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/25/12/_icsFiles/afilefield/2013/12/17/1342458_01_1.pdf> (2014年1月10日)
- 山田由希子 (1996)。A case study of children's cross-cultural understanding in relation to the target language use. 『日本児童英語教育学会研究紀要』第15号、13-26

16